

ハザードマップ更新業務委託仕様書

1 目的

この仕様書は、那須烏山市（以降、「発注者」という。）が作成を予定する、「那須烏山市洪水・土砂災害ハザードマップ」更新業務委託の仕様について定める。

2 納入

- (1) 納入場所：栃木県那須烏山市中央1-1-1
那須烏山市役所烏山庁舎総務課
- (2) 納入期限：令和9年3月12日（金）
- (3) 納入数
 - ① B4冊子：9,000部（発注者の指示する部数毎に仕分けること。）
 - ② A0一枚地図：50部
 - ③ ホームページ掲載用データ：一式

3-1 作成仕様（B4冊子）

- (1) 規格：B4冊子52頁程度（表紙・裏表紙：2頁＋記事・地図：50頁）
- (2) 色数：4C
- (3) 用紙
 - ① 表紙：上質紙四六判135kg、表紙・裏表紙：PP加工
 - ② 本文：上質紙四六判90kg
- (4) 製本：中綴じ
- (5) 加工：表紙対向左上穴あけ加工（φ5mm） ※吊り下げを目的
- (6) 校正
 - ① 文字校：2回
 - ② 色校：簡易色校1回
- (7) 備考：受注時における最新の住宅地図データベースで作成すること

3-2 作成仕様（A0一枚地図）

- (1) 規格：A0サイズ
- (2) 色数
 - ① 表：4C
 - ② 裏：0C
- (3) 用紙：普通紙（プロッター出力可）
- (4) 加工：薄口両面ラミネート加工（折りなし）

- (5) 校正：文字校 1 回
- (6) 備考：受注時における最新の住宅地図データベースで作成すること

3-3 作成仕様（ホームページ掲載用データ）

- (1) 規格：印刷物同様
- (2) 色数：印刷物同様
- (3) 形式：PDF形式
- (4) 備考：市ホームページへの掲載を考慮した容量で作成すること

4 収録情報

住民において、土砂災害・洪水・地震等のハザードの種類の学習及び理解、住居周辺の確認・避難経路設定等、自助・共助に活用可能な構成及び情報である収録内容とする。なお、受注者はイラスト・文章等により構成・配色を行い、見やすさに留意すること。

(1) 学習・災害準備を目的とした内容

避難行動ガイド、特別警報、風水害（台風・雨量等）、土砂災害、地震対策、持出し品、セルフチェック、避難所一覧、感染症対策啓発記事、マイ・タイムライン情報等

(2) 背景地図に重ね合わせる掲載内容

① 全域図：頁割図

② 詳細図

ア 洪水浸水想定区域（那珂川・荒川・箒川及びハザードマップ掲載区域に含まれる河川）

イ 浸水リスク想定区域（江川（烏山）・木須川及びハザードマップ掲載区域に含まれる河川）

ウ 防災重点ため池浸水想定区域（那須烏山市及びハザードマップ掲載区域に含まれるため池）

エ 大雨時冠水危険箇所

オ 土砂災害警戒区域（那須烏山市及びハザードマップ掲載区域に含まれる土砂災害警戒区域）

カ 土砂災害特別警戒区域（那須烏山市及びハザードマップ掲載区域に含まれる土砂災害特別警戒区域）

キ 大規模盛土造成地（那須烏山市及びハザードマップ掲載区域に含まれる土砂災害警戒区域）

ク 指定緊急避難場所・指定避難所

ケ 要配慮者利用施設

コ その他発注者が指示する事項

(3) 使用する地図内容（B4版）

① 全域図

広域地図データベースで作成（縮尺約1/70,000を想定）

② 詳細図

受注時最新版住宅地図データベースと、頁割によって隣接する自治体が含まれる場合は同様に同地図データベースの該当地区版を利用し接続された状態での作成を行い掲載する。また、自宅及び自宅からの避難経路設定等を目的に含むため、詳細な背景図を使用することとし、以下の内容に対応すること。

ア 住居を含むほぼ全ての建築物が家形枠で表記されていること。

イ ほぼ全ての道路（有料道路、一般国道、県道、市道、農道等）が現況に沿った道幅で表現されていること。

ウ 歩道橋、石段、確認可能な用水路、細流等が記載されていること。

エ 等高線、地形形状等、河川、沼地（ため池を含む）等が記載されていること。

オ 頁割りにによって隣接自治体が含まれる場合は空白とせず、同等の内容及び条件で、接続された状態で掲載すること。

カ 1年以内に記載内容の全てを調査・調製した地図情報であり、それを証明できること。

5-1 作業内容（B4冊子）

(1) 表紙（裏表紙）新規作成、表紙及び裏表紙のデザイン作成。

(2) 冊子全体の頁構成作成

受注者は、災害学習にあたる学習頁と詳細地図にあたる情報マップ頁において、全体の頁構成を作成し発注者との協議を行い、合意を得て作成すること。

(3) 防災学習頁の作成

受注者は、4の(1)「学習・災害準備を目的とした内容」で指定している学習頁を原稿として発注者に提出し、修正した内容より作成をおこなうこと。

(4) 地図頁の作成

ア 背景図（全域図・詳細図）の作成

4の(3)「使用する地図内容」で指定している全域図及び詳細図を作成し背景図として必要な地図構成項目（行政名・主要目標物名称・河川名称等）を掲載すること。

イ 各種ハザード情報と背景地図の重ね合わせ・入力作業

受注者は、4の(2)「背景地図と重ね合わせる掲載内容」で指定している項目を

重ね合わせ作成すること。

5-2 作業内容（A0一枚地図）

- (1) B4版で作成した情報内容を元に情報記事欄を地図外に確保した上、任意の縮尺で作成すること。
- (2) ラミネート加工を両面に施すこと。

6 提供情報

発注者は、受注者が作成するうえで必要な発注者が保有する情報については、貸与することとする。なお、各種ハザードに関してはshapeファイル形式又はその他の形式、避難所・避難場所に関してはExcelファイル形式での貸与とする。その他の収録情報の形式に関しては、発注者・受注者間で協議の上、決定するものとする。

7 その他

- (1) 業務遂行に当たっては、受注者が責任者を定める（必要であれば各業務工程別）とともに、貸与するデータ資料及び成果物等の管理に万全を期すこと。
- (2) 発注者が受注者に対し貸与した物品については、本業務終了後、速やかに返却すること。
- (3) 受注者は、本契約の履行に当たって、知り得たことについて、外部に漏らしたり他の目的に利用してはならない。これを担保するため、受注者はISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）承認取得者とする。
- (4) 受注者は住民目線で見やすさ・わかりやすさを担保するため作業者に日本防災士機構が定める防災士を1名以上参加させること。（証明書は打合せ時に発注者が確認する。）
- (5) 受注者は確かな経験を有することが必須であり、過去3年以内に栃木県内で5例以上のハザードマップ作成実績を有するものとし、現物の提出をすること。なお、ここでいうハザードマップとは、該当する災害想定である土砂・浸水・地震その他（雪害・竜巻・雷等）を網羅したものをいう。
- (6) 受注者は地図及びハザードデータの精密な調製が可能な測量業者とし国土交通省に登録している証明書を提出すること。
- (7) 令和元年東日本台風後の作成ということで収録情報の選定において担当課との綿密な打合せの上での業務遂行を鑑み、臨機応変且つ密な打合せを必要するため、受注者は栃木県内に事業所を有するものとする。
- (8) 完成した「那須烏山市洪水・土砂災害ハザードマップ」に関する著作権は発注者に属する。但し、受注者又は第三者が従前より保有する著作権その他の権利は受注

者、第三者が留保するものとし本業務目的以外で利用する場合は受注者の許諾を得るものとする。

- (9) この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者・受注者とが協議して定める。